

令和5年度

事業報告書

決算書

目 次

I - I. 令和 5 年度事業報告書	
1. 事業概況（令和 5 年度を振り返って）	3
2. 総裁	3
3. 役員構成	3
4. 会員数	3
5. 会議等	4
6. 登記事項	4
7. 組織及び職員数	5
8. 恩賜発明賞・恩賜記念賞の贈呈	6
9. 発明奨励振興事業	6
(1) 全国発明表彰	6
(2) 地方発明表彰	7
(3) 「戦後日本のイノベーション 100 選」特設サイトの運営	7
10. 青少年創造性開発育成事業	7
(1) 第 82 回全日本学生児童発明くふう展	7
(2) 第 46 回未来の科学の夢絵画展	8
(3) 未来の科学の夢絵画展 ネット美術館	8
(4) 少年少女発明クラブ事業	8
(5) 第 11 回全国少年少女チャレンジ創造コンテスト	9
(6) 東京都児童生徒発明くふう展	10
(7) 青少年創造性開発育成海外交流	10
(8) 発明の日及び科学技術週間協賛事業	10
(9) 青少年創造性開発育成委員会	10
(10) 青少年創造性開発育成事業へのご協賛	10
11. 知的財産権制度普及等事業	10
国際知的財産保護フォーラム	10
12. 地域機関との相互連携	11
発明協会会長等懇談会	11
13. 関係省庁への協力	11
(1) 文部科学省表彰関係事業への協力	11
(2) 特許庁知財功労賞への協力	11
14. 東京発明推進協議会の活動	11
15. 公益事業の広報活動	11
16. 事務所の移転	11
I - II. 事業報告書の附属明細書	
事業報告書の附属明細書	12
II. 令和 5 年度決算書	
貸借対照表	13
正味財産増減計算書	14
正味財産増減計算書内訳表	15
財務諸表に対する注記	16
附属明細書	17
財産目録	18
収支計算書	20
収支計算書（資金ベース）	21

I-I. 令和5年度事業報告書

1. 事業概況（令和5年度を振り返って）

当協会は、我が国科学技術の振興と産業経済の発展に貢献するため、令和5年度においても引き続き、発明の奨励、青少年の創造性開発育成、知的財産権制度普及等の公益事業を着実に推進した。

発明奨励振興事業では、全国発明表彰において恩賜発明賞ほか各賞を贈呈するとともに、全国8ブロックにおいて地方発明表彰を実施した。青少年創造性開発育成事業においては、企業等からの協賛を得て、全日本学生児童発明くふう展、未来の科学の夢絵画展、全国少女チャレンジ創造コンテスト、少年少女発明クラブ事業等を実施した。

加えて、虎ノ門一・二丁目地区市街地再開発事業に伴い虎ノ門ヒルズ江戸見坂テラスへ事務所を移転した。

以下、令和5年度の事業について報告する。

2. 総 裁 常陸宮殿下

3. 役 員 構 成 （令和6年3月31日現在）

会 長	1名	（代表理事）
副 会 長	6名	（うち1名代表理事）
専務理事	1名	（業務執行理事）
常務理事	2名	（業務執行理事）
理 事	32名	
監 査 役	2名	
特別顧問	2名	
顧 問	2名	
参 与	1名	
幹 事	120名	

4. 会 員 数 （令和6年3月31日現在）

360社・名

5. 会 議 等

(1) 定時総会

日 時 令和 5 年 6 月 12 日 13 : 15 ~ 13 : 50
場 所 The Okura Tokyo プレステージタワー 1 階「曙の間 I」
議 事 <決議事項>
第 1 号議案 令和 4 年度事業報告及び決算承認の件
第 2 号議案 役員選任の件
<報告事項>
令和 5 年度事業計画及び同収支予算報告の件

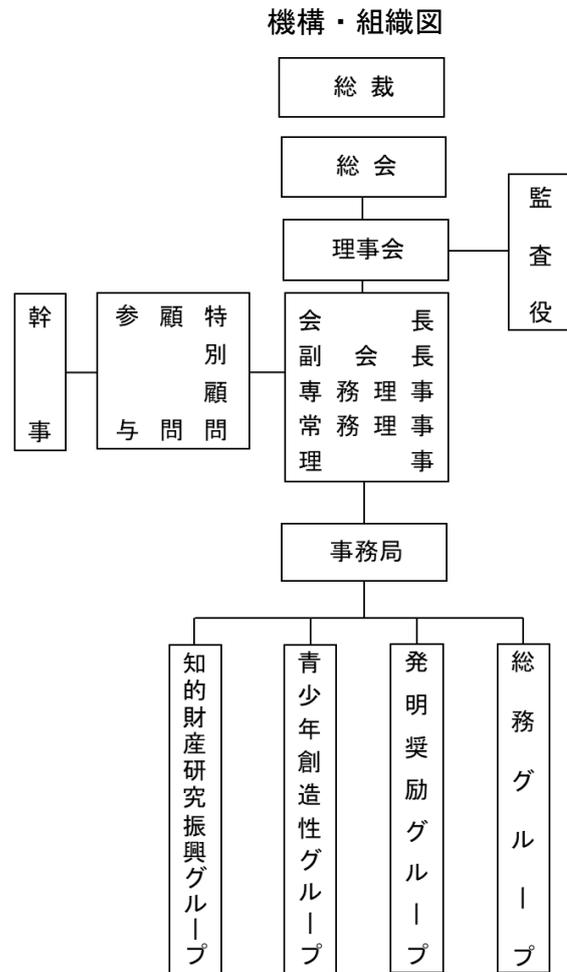
(2) 理事会

- ① 日 時 令和 5 年 5 月 18 日 13 : 30 ~ 14 : 40
場 所 霞山会館「霞山の間」(Web 会議システムを併用して開催)
議 題 (1) 令和 4 年度事業報告及び決算 (案) について
(2) 役員選任 (案) について
(3) 定時総会の招集 (案) について
(4) 幹事の推薦について
(5) 2023 年度 公益財団法人 J K A 補助事業 について
報告事項 (1) 代表理事等の職務執行状況
(2) 一般社団法人発明推進協会からの特定寄附受入
(3) 令和 4 年度 青少年創造性開発育成事業へのご協賛
(4) その他
- ② 日 時 令和 5 年 6 月 12 日 14 : 05 ~ 14 : 15
場 所 The Okura Tokyo プレステージタワー 1 階「曙の間 I」
議 題 (1) 会長、副会長、専務理事及び常務理事の選定について
(2) 代表理事の選定について
(3) 主たる事務所移転について
(4) 幹事の推薦について
- ③ 日 時 令和 6 年 3 月 13 日 12 : 30 ~ 13 : 30
場 所 霞山会館「霞山の間」(Web 会議システムを併用して開催)
議 題 (1) 令和 6 年度事業計画・同収支予算 (案) について
(2) 特別功労者について
報告事項 (1) 代表理事等の職務執行状況の報告
(2) その他

6. 登 記 事 項

役員変更登記 令和 5 年 7 月 4 日
事務所変更登記 令和 5 年 8 月 7 日

7. 組織及び職員数 (令和6年3月31日現在)



職員数 16名

8. 恩賜発明賞・恩賜記念賞の贈呈

皇室より御下賜金を拝受し、令和 5 年度全国発明表彰において、独創性に富む極めて優れた発明により我が国科学技術の振興と産業の発展に大きく貢献した発明者に恩賜発明賞を贈り、その榮譽を讃えた。また、第 82 回全日本学生児童発明くふう展において、最も優秀な作品を恩賜記念賞に選定した。

- 恩賜発明賞 「乳酸菌を含む免疫賦活用食品組成物の発明」
藤原 大介 キリンホールディングス株式会社
城内 健太 キリンホールディングス株式会社
杉村 哲 キリンホールディングス株式会社
- 恩賜記念賞 「アマモの発芽・育成装置及び方法」
嘉手納 杏果 私立東海大学付属相模高等学校中等部 2 年

9. 発明奨励振興事業

(1) 全国発明表彰

- 主催 発明協会
- 後援 文部科学省、経済産業省、特許庁、日本経済団体連合会、日本商工会議所、日本弁理士会、朝日新聞社

令和 5 年度は、地域の発明協会、関係団体等からの推薦により、意匠・電気・化学・機械及び未来創造専門部会を経て、令和 5 年 4 月 11 日の選考委員会において、第 1 表彰区分として恩賜発明賞、内閣総理大臣賞等の特別賞ほか各賞を、第 2 表彰区分として未来創造発明賞及び未来創造発明奨励賞を選考した。

表彰式は、令和 5 年 6 月 12 日、The Okura Tokyo において、総裁常陸宮殿下御臨席のもと、星野内閣府副大臣、井出文部科学副大臣、中谷経済産業副大臣、濱野特許庁長官をはじめとする来賓の参列を得て挙行之、上記各賞に加え恩賜発明賞、特別賞の発明等の権利を保有する代表者に実施功績賞を、また、未来創造発明賞及び未来創造発明奨励賞の権利を保有する代表者に未来創造発明貢献賞を贈呈した。

加えて、恩賜発明賞の受賞者には畠山一清賞を、特別賞、未来創造発明賞及び未来創造発明奨励賞受賞者にはそれぞれ発明奨励金を贈呈した。

○第 1 表彰区分

恩賜発明賞	1 件 3 名	特別賞	10 件 24 名
発明賞	11 件 26 名	発明実施功績賞	10 件 11 名

○第 2 表彰区分

未来創造発明賞	1 件 1 名	未来創造発明奨励賞	1 件 4 名
未来創造発明貢献賞	1 件 3 名		

○発明奨励功労賞 12 名

(2) 地方発明表彰

- 主催 発明協会
共催 46 道府県発明協会
後援 文部科学省、特許庁、中小企業庁、各経済産業局、北海道、宮城県、静岡県、石川県、兵庫県、岡山県、徳島県、福岡県、日本弁理士会、工業所有権電子情報化センター

令和 5 年度は、地域の発明協会から多数推薦された中から、令和 5 年 7 月 20 日に開催した中央選考委員会及び 8 月下旬に 8 ブロックで開催した地方選考委員会において各賞を選考した。

表彰式は、10 月中旬から 11 月下旬にかけて以下のとおり挙行し、計 456 件、1,302 名を表彰した。

・北海道地方発明表彰式	10 月 26 日	北海道小樽市
・東北地方発明表彰式	10 月 25 日	宮城県仙台市
・関東地方発明表彰式	11 月 29 日	静岡県静岡市
・中部地方発明表彰式	11 月 17 日	石川県金沢市
・近畿地方発明表彰式	11 月 14 日	兵庫県神戸市
・中国地方発明表彰式	10 月 17 日	岡山県岡山市
・四国地方発明表彰式	11 月 28 日	徳島県徳島市
・九州地方発明表彰式	11 月 2 日	福岡県福岡市

(3) 「戦後日本のイノベーション 100 選」特設サイトの運営

戦後日本で成長を遂げ、我が国産業経済の発展に貢献したイノベーションを紹介する特設サイトの運営を行った。

10. 青少年創造性開発育成事業

(1) 第 82 回全日本学生児童発明くふう展

- 主催 発明協会
後援 文部科学省、経済産業省、特許庁、世界知的所有権機関、日本弁理士会、NHK、毎日新聞社、日本科学技術振興財団・科学技術館、全国連合小学校長会、全日本中学校長会、全国高等学校長協会、全国工業高等学校長協会

令和 5 年度は、各地域で開催された発明くふう展等において優秀な成績を収めた作品のうち地域の発明協会より推薦された作品を中心に 727 点の応募があった。これらの作品について、令和 6 年 1 月 11 日に審査幹事会、同月 26 日に審査委員会を開催し、恩賜記念賞、内閣総理大臣賞等の特別賞ほか各賞を決定した。

令和 6 年 3 月 29 日には、科学技術館において、常陸宮同妃両殿下御臨席のもと、今枝文部科学副大臣、上月経済産業副大臣をはじめ来賓多数の参列を得て作品御覧が行われ、その後表彰式を挙行した。

翌 30 日から 31 日には、同館イベントホールにおいて展覧会を開催（「第 46 回未来の科学の夢絵画展」と同時開催）した。

・第 82 回全日本学生児童発明くふう展入賞作品

○恩賜記念賞 1 点 ○特別賞 13 点 ○奨励賞 20 点 ○入選 122 点

(2) 第 46 回未来の科学の夢絵画展

主催 発明協会

後援 文部科学省、経済産業省、特許庁、日本弁理士会、NHK、
朝日新聞社、朝日小学生新聞、朝日中高生新聞、
日本美術教育連合、美育文化協会

令和 5 年度は、全国の小・中学校、幼稚園・保育園及び外国人学校の児童生徒から応募のあった 7,911 点の作品について令和 6 年 2 月 1 日に開催した審査委員会において文部科学大臣賞等の特別賞ほか各賞を選考した。

令和 6 年 3 月 29 日には、科学技術館サイエンスホールにおいて、文部科学省より水野振興企画課奨励室長、特許庁より細川総務部総務課長をはじめ来賓多数の参列を得て表彰式を挙行了した。

翌 30 日から 31 日には、同館イベントホールにおいて展覧会を開催（「第 82 回全日本学生児童発明くふう展」と同時開催）した。

・「小学校・中学校の部」

○特別賞 11 点 ○優秀賞 49 点 ○奨励賞 80 点

・「幼稚園・保育園の部」

○特別賞 1 点 ○優秀賞 5 点 ○奨励賞 40 点

・「外国人学校の部」

○特別賞 1 点 ○優秀賞 5 点 ○奨励賞 10 点

(3) 未来の科学の夢絵画展 ネット美術館

本絵画展の受賞作品と各国の公益機関等から推薦を受けた青少年の絵画作品をネット美術館（Web サイト）掲載し、広く一般に本事業の成果を発信した。

(4) 少年少女発明クラブ事業

①少年少女発明クラブ

次代を担う人材を育成するため、全国各地域の発明クラブにおいて創造性を育成する活動を行った。なお、令和 5 年度は 3 クラブが新規に活動を開始した。

・発明クラブ設置数：211 クラブ（令和 6 年 3 月 31 日現在）

・クラブ員数：約 10,300 名

・指導員数：約 2,400 名

②少年少女発明クラブ全国会議

発明クラブの活動方法等についての研究討議を行うとともに、運営等についての情報交換を図るため、第 86 回少年少女発明クラブ全国会議を愛知県で開催した。

- ・開催日：令和 5 年 11 月 24 日
- ・会場：TKP ガーデンシティ PREMIUM 名駅西口
- ・出席者：全国各発明クラブ会長、指導員、地域の発明協会担当者等 133 名

③少年少女発明クラブ指導員表彰

少年少女発明クラブにおける指導に多年従事し、青少年の創造性開発育成に関し特に功績のあった指導員 86 名（36 クラブ）に対し、感謝状を贈呈した。

④少年少女発明クラブ指導員研修会

少年少女発明クラブ指導員の資質の向上と情報交換を目的とした都道府県別研修会（10 か所）及びブロック研修会（4 か所）を開催した。

⑤少年少女発明クラブニュースの発行

少年少女発明クラブにおける創意工夫活動の成果、各種イベントの告知・報告等を掲載した「少年少女発明クラブニュース」を隔月（計 6 回）で発行し、全国の少年少女発明クラブ、地域の発明協会、地方自治体、科学館等を通じて広く一般に配布した。

⑥「はつめいキッズ」ホームページの運営

青少年の創造性開発育成活動の成果普及を図ることを目的に、少年少女発明クラブをはじめとした本事業全般を紹介するホームページ「はつめいキッズ」を運営した。

*本事業の①、②、⑤については、競輪の補助を受けて実施した。

(5) 第 11 回全国少年少女チャレンジ創造コンテスト

- | | |
|------|---|
| 主催 | 発明協会 |
| 共催 | 愛知県 |
| 後援 | 文部科学省、経済産業省、特許庁、日本弁理士会、NHK、
全国連合小学校長会、全日本中学校長会 |
| 特別協賛 | 株式会社荏原製作所 |

4 年ぶりの開催となった令和 5 年度はルールを一新するとともに、全国大会の会場を愛知県に移し実施した。

48 地域で開催した地区大会には 343 チームが参加し、その結果を踏まえ令和 5 年 9 月 28 日に開催したコンテスト委員会において全国大会に出場する 60 チームを選考した。

全国大会は、令和 5 年 11 月 25 日に Aichi Sky Expo 展示ホール E において開催し、全チームの競技終了後、文部科学大臣賞、特許庁長官賞の特別賞ほか各賞を選考し、関係省庁、関係団体等の参列を得て表彰式を挙行了した。

*本事業は、競輪の補助を受けて実施した。

(6) 東京都児童生徒発明くふう展

東京都からの委託事業として、第 66 回東京都児童生徒発明くふう展を開催した。展覧会は港区立みなと科学館において令和 5 年 12 月 6 日～10 日にかけて開催し、特別賞 12 点、優秀賞 22 点、入選 56 点の計 90 点を展示した。また、最終日の 10 日には同科学館プラネタリウムホールにおいて表彰式を開催した。

(7) 青少年創造性開発育成海外交流

世界青少年発明工夫展 (IEYI) は、昨年度に引き続きビデオ審査形式での開催となった (主催：台湾創意発展協会)。

日本からは、第81回全日本学生児童発明くふう展及び第45回未来の科学の夢絵画展において優秀な成績を収めた青少年22名 (創作品11点と絵画10点) が英語による作品紹介ビデオを作成して令和5年10月に開催された審査に参加し、以下の各賞を受賞した。

・日本メンバー受賞結果

○金賞 7点 ○銀賞 7点 ○銅賞 4点 ○特別賞 3点

(8) 発明の日及び科学技術週間協賛事業

発明の日 (4 月 18 日) 及び科学技術週間協賛事業として、地域の発明協会及び全国の青少年発明クラブにおいて公開発明教室、発明クラブ作品展等を行った。

(9) 青少年創造性開発育成委員会

創造性開発育成事業の拡充・強化等について審議を行うため、「第 43 回青少年創造性開発育成委員会」を令和 6 年 3 月 14 日に開催した。

(10) 青少年創造性開発育成事業へのご協賛

当協会が行う青少年創造性開発育成事業について、広く産業界からの事業協賛を募り同事業の更なる充実を図った。

令和 5 年度においては、以下の協賛を得た。

- ・ゴールドスポンサー 13 社・団体
- ・シルバースポンサー 11 社
- ・ブロンズスポンサー 24 社

11. 知的財産権制度普及等事業

国際知的財産保護フォーラム

国際知的財産保護フォーラム (IIPPF) の活動に企画委員として参画した。また、IIPPF 会員企業等の協力を得て、真正品、模倣品・海賊版等の展示を以下の各イベントにおいて実施した。

「ホンモノ？ニセモノ？君はわかるかな？」の展示説明

・令和 6 年 3 月 30 日～31 日

「第 82 回全日本学生児童発明くふう展」「第 46 回未来の科学の夢絵画展」展覧会

「真正品、模倣品・海賊版」の展示説明

・令和 5 年 7 月 26 日

中央区(東京都)主催 「出張！IPカルチャー教室」

・令和 5 年 9 月 16 日

中央区(東京都)主催 「中央区児童生徒発明くふう展」

12. 地域機関との相互連携

発明協会会長等懇談会

全国で開催される地方発明表彰式にあわせ、令和 5 年 10 月中旬から 11 月下旬にかけて地域協会会長等との懇談会を開催し意見交換を行った。

懇談会は、関東及び中部地方を除く北海道地方・10月26日、東北地方・10月25日、近畿地方・11月14日、中国地方・10月17日、四国地方・11月28日、九州地方・11月2日の6地方で開催した。

13. 関係省庁への協力

(1) 文部科学省表彰関係事業への協力

科学技術の振興と発明の普及に寄与するため、叙勲、褒章及び文部科学大臣表彰科学技術賞（開発部門、技術部門等）の表彰対象者の調査・推薦を行った。

(2) 特許庁知財功労賞への協力

経済産業省・特許庁が実施した「知的財産権制度関係功労者表彰」及び「知的財産権制度活用優良企業等表彰」の候補者・候補企業の調査・推薦を行った。

14. 東京発明推進協議会の活動

令和 6 年 1 月 15 日に霞山会館において新年賀詞交歓会を開催し、会員、来賓等との交流を図った。

15. 公益事業の広報活動

当協会機関紙「月報はつめい」を会員に配付するとともにホームページにおいて広報活動に努めた。

16. 事務所の移転

虎ノ門一・二丁目地区第一種市街地再開発事業に伴い、令和 5 年 8 月 7 日に虎ノ門ヒルズ江戸見坂テラス(東京都港区)へ事務所を移転した。

I－II. 事業報告書の附属明細書

令和5年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和6年5月
公益社団法人 発明協会

貸借対照表

令和6年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金及び預金	78,025,951	83,708,411	△ 5,682,460
未収入金	22,479,112	13,901,244	8,577,868
預け金	1,876,359	2,116,595	△ 240,236
前払費用	86,730	1,092,132	△ 1,005,402
流動資産合計	102,468,152	100,818,382	1,649,770
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
退職給付引当資産	13,670,833	8,845,833	4,825,000
特定資産合計	13,670,833	8,845,833	4,825,000
(2) その他固定資産			
その他固定資産合計	0	0	0
固定資産合計	13,670,833	8,845,833	4,825,000
資産合計	116,138,985	109,664,215	6,474,770
II 負債の部			
1. 流動負債			
買掛金	16,499,930	15,866,917	633,013
未払金	52,244,306	48,534,195	3,710,111
前受金	9,870,000	6,250,000	3,620,000
預り金	497,197	467,941	29,256
仮受金	0	8,604,367	△ 8,604,367
流動負債合計	79,111,433	79,723,420	△ 611,987
2. 固定負債			
退職給付引当金	13,670,833	8,845,833	4,825,000
固定負債合計	13,670,833	8,845,833	4,825,000
負債合計	92,782,266	88,569,253	4,213,013
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	0	0	0
2. 一般正味財産	23,356,719	21,094,962	2,261,757
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	23,356,719	21,094,962	2,261,757
負債及び正味財産合計	116,138,985	109,664,215	6,474,770

正味財産増減計算書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
〔1〕経常増減の部			
1. 経常収益			
(1) 御下賜金	50,000	50,000	0
(2) 受取会費	28,950,000	29,860,000	△ 910,000
(3) 事業収益	2,908,636	2,941,636	△ 33,000
① 発明奨励振興事業収益	(2,908,636)	(2,941,636)	(△ 33,000)
(4) 受取補助金等	19,473,557	11,437,619	8,035,938
① JKA補助金	(19,473,557)	(11,437,619)	(8,035,938)
(5) 受取寄附金・受取協賛金等	252,272,727	182,749,091	69,523,636
① 資金寄附収益	(185,000,000)	(116,500,000)	(68,500,000)
② 協賛金収益	(37,272,727)	(35,909,091)	(1,363,636)
③ 資金寄附振替額	(30,000,000)	(30,340,000)	(△ 340,000)
(6) 雑収益	9,108,271	1,132,243	7,976,028
① 雑収益	(9,108,116)	(1,131,785)	(7,976,331)
② 受取利息	(155)	(458)	(△ 303)
経常収益計	312,763,191	228,170,589	84,592,602
2. 経常費用			
(1) 事業費	262,721,364	269,545,696	△ 6,824,332
① 発明奨励振興事業費	(153,049,013)	(164,599,692)	(△ 11,550,679)
② 事業人件費	(91,802,684)	(89,780,900)	(2,021,784)
③ 事業事務費	(17,869,667)	(15,165,104)	(2,704,563)
(2) 管理費	47,780,070	38,058,540	9,721,530
① 人件費	(10,578,123)	(9,311,611)	(1,266,512)
② 事務費	(37,201,947)	(28,746,929)	(8,455,018)
経常費用計	310,501,434	307,604,236	2,897,198
当期経常増減額	2,261,757	△ 79,433,647	81,695,404
〔2〕経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	2,261,757	△ 79,433,647	81,695,404
一般正味財産期首残高	21,094,962	100,528,609	△ 79,433,647
一般正味財産期末残高	23,356,719	21,094,962	2,261,757
II 指定正味財産増減の部			
(1) 受取寄附金	30,000,000	30,340,000	△ 340,000
① 資金寄附	(30,000,000)	(30,340,000)	(△ 340,000)
(2) 一般正味財産への振替額	△ 30,000,000	△ 30,340,000	340,000
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	23,356,719	21,094,962	2,261,757

正味財産増減計算書内訳表

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計		法人会計	内部取引 等消去	合計
	公1 発明奨励等	小計			
I 一般正味財産増減の部					
[1]経常増減の部					
1. 経常収益					
(1) 御下賜金	50,000	50,000	0		50,000
(2) 受取会費	14,475,000	14,475,000	14,475,000		28,950,000
(3) 事業収益	2,908,636	2,908,636	0		2,908,636
① 発明奨励振興事業収益	(2,908,636)	(2,908,636)	(0)		(2,908,636)
(4) 受取補助金等	19,473,557	19,473,557	0		19,473,557
① JKA補助金	(19,473,557)	(19,473,557)	(0)		(19,473,557)
(5) 受取寄附金・受取協賛金等	225,814,171	225,814,171	26,458,556		252,272,727
① 資金寄附収益	(158,541,444)	(158,541,444)	(26,458,556)		(185,000,000)
② 協賛金収益	(37,272,727)	(37,272,727)	(0)		(37,272,727)
③ 資金寄附振替額	(30,000,000)	(30,000,000)	(0)		(30,000,000)
(6) 雑収益	0	0	9,108,271		9,108,271
① 雑収益	(0)	(0)	(9,108,116)		(9,108,116)
② 受取利息	(0)	(0)	(155)		(155)
経常収益計	262,721,364	262,721,364	50,041,827		312,763,191
2. 経常費用					
(1) 事業費	262,721,364	262,721,364	0		262,721,364
① 発明奨励振興事業費	(153,049,013)	(153,049,013)	(0)		(153,049,013)
② 事業人件費	(91,802,684)	(91,802,684)	(0)		(91,802,684)
③ 事業事務費	(17,869,667)	(17,869,667)	(0)		(17,869,667)
(2) 管理費	0	0	47,780,070		47,780,070
① 人件費	(0)	(0)	(10,578,123)		(10,578,123)
② 事務費	(0)	(0)	(37,201,947)		(37,201,947)
経常費用計	262,721,364	262,721,364	47,780,070		310,501,434
当期経常増減額	0	0	2,261,757		2,261,757
[2]経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経常外収益計	0	0	0		0
(2) 経常外費用					
経常外費用計	0	0	0		0
当期経常外増減額	0	0	0		0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	0	0	2,261,757		2,261,757
他会計振替額	0	0	0		0
当期一般正味財産増減額	0	0	2,261,757		2,261,757
一般正味財産期首残高	0	0	21,094,962		21,094,962
一般正味財産期末残高	0	0	23,356,719		23,356,719
II 指定正味財産増減の部					
(1) 受取寄附金	30,000,000	30,000,000	0		30,000,000
① 資金寄附	(30,000,000)	(30,000,000)	(0)		(30,000,000)
(2) 一般正味財産への振替額	△ 30,000,000	△ 30,000,000	0		△ 30,000,000
当期指定正味財産増減額	0	0	0		0
指定正味財産期首残高	0	0	0		0
指定正味財産期末残高	0	0	0		0
III 正味財産期末残高	0	0	23,356,719		23,356,719

財務諸表に対する注記

1. 継続組織の前提に関する注記

継続組織の前提に関する重要な疑義を生じさせるような事象または状況は存在しない。

2. 重要な会計方針

(1) 引当金の計上基準

退職給付引当金: 役員退職手当金については、役員の退職手当金支給に備えるため、規則に基づく期末要支給額を計上

(2) 消費税等の会計処理

税抜方式によっている。

3. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
退職給付引当資産	8,845,833	4,825,000	0	13,670,833
合 計	8,845,833	4,825,000	0	13,670,833

4. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
特定資産				
退職給付引当資産	13,670,833	(—)	(—)	(13,670,833)
合 計	13,670,833	(—)	(—)	(13,670,833)

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の 記載区分
補助金						
2023年度公益事業振興補助事業	公益財団法人JKA	0	19,473,557	19,473,557	0	—
合 計		0	19,473,557	19,473,557	0	

6. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内 容	金額
経常収益への振替額	
資金寄附振替額	30,000,000
合 計	30,000,000

附 属 明 細 書

1. 特定資産の明細

財務諸表に対する注記に記載のとおりである。

2. 引当金の明細

(単位:円)

科 目	期首残高	当期増加額	当 期 減 少 額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	8,845,833	4,825,000	0	0	13,670,833

財 産 目 録

令和6年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動資産)			
現金	手元保管	運転資金として	413,549
預金	当座預金(三井住友銀行本店営業部)	運転資金として	59,647,832
	普通預金(三井住友銀行本店営業部)	運転資金として	2,453,774
	普通預金(三井住友銀行本店営業部)	運転資金として	1,000,413
	普通預金(三井住友銀行本店営業部)	運転資金として	10,858,366
	普通預金(りそな銀行東京営業部)	運転資金として	74,067
	振替貯金(ゆうちょ銀行本店)	運転資金として	3,577,950
未収入金	公益財団法人 JKA他	公益目的事業に係る補助金他	22,479,112
預け金	小樽少年少女発明クラブ他	公益目的事業に係る運営事業費他	1,876,359
前払費用	役員に対するもの	通勤手当	86,730
流動資産合計			102,468,152
(固定資産)			
特定資産			
退職給付引当資産	当座預金(三井住友銀行本店営業部)	退職給付引当金見合の引当資産	13,670,833
特定資産合計			13,670,833
その他固定資産			
その他固定資産合計			0
固定資産合計			13,670,833
資産合計			116,138,985
(流動負債)			
買掛金	株式会社発明会館他	公益目的事業及び管理業務に係る発送料他	16,499,930
未払金	一般社団法人発明推進協会他	公益目的事業及び管理業務に係る出向料他	52,244,306
前受金	会員	公益目的事業及び管理業務に係る会費	9,870,000
預り金	芝税務署他	公益目的事業及び管理業務に係る所得税他	497,197
流動負債合計			79,111,433
(固定負債)			
退職給付引当金	役員に対するもの	退職金の支払いに備えるもの	13,670,833
固定負債合計			13,670,833
負債合計			92,782,266
正味財産			23,356,719

収 支 計 算 書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位:円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
I 一般正味財産増減の部				
[1] 経常増減の部				
1. 経常収益				
(1) 御下賜金	50,000	50,000	0	
(2) 受取会費	29,250,000	28,950,000	300,000	
(3) 事業収益	3,408,000	2,908,636	499,364	
① 発明奨励振興事業収益	(3,408,000)	(2,908,636)	(499,364)	
(4) 受取補助金等	31,105,000	19,473,557	11,631,443	
① JKA補助金	(31,105,000)	(19,473,557)	(11,631,443)	
(5) 受取寄附金・受取協賛金等	240,100,000	252,272,727	△ 12,172,727	
① 資金寄附収益	(188,000,000)	(185,000,000)	(3,000,000)	
② 協賛金収益	(32,100,000)	(37,272,727)	(△ 5,172,727)	
③ 資金寄附振替額	(20,000,000)	(30,000,000)	(△ 10,000,000)	
(6) 雑収益	8,604,000	9,108,271	△ 504,271	
① 雑収益	(8,604,000)	(9,108,116)	(△ 504,116)	
② 受取利息	(0)	(155)	(△ 155)	
経常収益計	312,517,000	312,763,191	△ 246,191	
2. 経常費用				
(1) 事業費	285,203,000	262,721,364	22,481,636	
① 発明奨励振興事業費	(178,072,000)	(153,049,013)	(25,022,987)	
② 事業人件費	(90,042,000)	(91,802,684)	(△ 1,760,684)	
③ 事業事務費	(17,089,000)	(17,869,667)	(△ 780,667)	
(2) 管理費	45,238,000	47,780,070	△ 2,542,070	
① 人件費	(9,110,000)	(10,578,123)	(△ 1,468,123)	
② 事務費	(36,128,000)	(37,201,947)	(△ 1,073,947)	
経常費用計	330,441,000	310,501,434	19,939,566	
当期経常増減額	△ 17,924,000	2,261,757	△ 20,185,757	
[2] 経常外増減の部				
(1) 経常外収益	0	0	0	
(2) 経常外費用	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△ 17,924,000	2,261,757	△ 20,185,757	
一般正味財産期首残高	6,633,000	21,094,962	△ 14,461,962	
一般正味財産期末残高	△ 11,291,000	23,356,719	△ 34,647,719	
II 指定正味財産増減の部				
(1) 受取寄附金	20,000,000	30,000,000	△ 10,000,000	
① 資金寄附	(20,000,000)	(30,000,000)	(△ 10,000,000)	
(2) 一般正味財産への振替額	△ 20,000,000	△ 30,000,000	10,000,000	
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III 正味財産期末残高	△ 11,291,000	23,356,719	△ 34,647,719	

(説明資料)

収 支 計 算 書 (資金ベース)

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位:円)

No.	科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
	I 事業活動収支の部				
	1. 事業活動収入				
1	(1) 御下賜金	50,000	50,000	0	
2	(2) 会費収入	29,250,000	28,950,000	300,000	
3	(3) 事業収入	3,408,000	2,908,636	499,364	
4	① 発明奨励振興事業収入	(3,408,000)	(2,908,636)	(499,364)	
5	(4) 補助金等収入	31,105,000	19,473,557	11,631,443	
6	① JKA補助金収入	(31,105,000)	(19,473,557)	(11,631,443)	
7	(5) 寄附金・協賛金収入	240,100,000	252,272,727	△ 12,172,727	
8	① 資金寄附収入	(208,000,000)	(215,000,000)	(△ 7,000,000)	
9	② 協賛金収入	(32,100,000)	(37,272,727)	(△ 5,172,727)	
10	(6) 雑収入	8,604,000	9,108,271	△ 504,271	
11	① 雑収入	(8,604,000)	(9,108,116)	(△ 504,116)	
12	② 受取利息	(0)	(155)	(△ 155)	
13	事業活動収入計	312,517,000	312,763,191	△ 246,191	
	2. 事業活動支出				
14	(1) 事業費支出	281,656,000	259,310,089	22,345,911	
15	① 発明奨励振興事業支出	(178,072,000)	(153,049,013)	(25,022,987)	
16	② 事業人件費	(90,042,000)	(91,802,684)	(△ 1,760,684)	
17	③ 事業事務費	(13,542,000)	(14,458,392)	(△ 916,392)	
18	(2) 管理費支出	43,960,000	46,366,345	△ 2,406,345	
19	① 人件費	(9,110,000)	(10,578,123)	(△ 1,468,123)	
20	② 事務費	(34,850,000)	(35,788,222)	(△ 938,222)	
21	事業活動支出計	325,616,000	305,676,434	19,939,566	
22	事業活動収支差額	△ 13,099,000	7,086,757	△ 20,185,757	
	II 投資活動収支の部				
	1. 投資活動収入				
23	(1) 特定資産取崩収入	0	0	0	
24	投資活動収入計	0	0	0	
	2. 投資活動支出				
25	(1) 特定資産支出	4,825,000	4,825,000	0	
26	投資活動支出計	4,825,000	4,825,000	0	
27	投資活動収支差額	△ 4,825,000	△ 4,825,000	0	
28	当期収支差額	△ 17,924,000	2,261,757	△ 20,185,757	
29	前期繰越収支差額	6,633,000	21,094,962	△ 14,461,962	
30	次期繰越収支差額	△ 11,291,000	23,356,719	△ 34,647,719	

以上の通り相違ありません。

令和6年5月15日

公益社団法人 発 明 協 会

会 長 内 山 田 竹 志

令和5年度事業報告書及び財務諸表について監査した結果、いずれも適正かつ
適法であることを認めます。

令和6年5月15日

監査役 石 井 宏 治

監査役 梶 原 徳 二